

平成29年11月15日

国立大学法人熊本大学

学長 原田信志 様

茨城マグネシウム工業会

茨城県東茨城郡茨城町 3781-1

電話029-303-6285



要 望 書

マグネシウムは、7大栄養素の1つであり、植物にとっても苦土石灰等の主成分であり環境にやさしく必要不可欠なものである。合金にしてもその性質が残され安全な金属としてもっともっと利用されるべきである。地球上に豊富に存在し軽く曲げや凹みに強く、電磁波シールドが高く、KUMADAI マグネシウム合金に関しては燃えにくい特性を手に入れた。地球環境の保全のためCO₂削減がさげばれる中、リサイクル性に富み低エネルギーで再生でき、しかも軽量で丈夫な金属マグネシウムの需要は今後ますます高まる一方と思われる。

ドローンはじめ空飛ぶ自動車等人類のあこがれである空を自由に飛ぶ夢の実現、また自動車、新幹線や航空機等への活用で KUMADAI マグネシウム合金は省エネという観点からも飛躍的に需要が伸びると考える。

茨城マグネシウム工業会は、先進マグネシウム国際研究センターと連携し難燃性のマグネシウムの商品開発を積極的に挑戦していきたい。燃えにくく軽くて丈夫なマグネシウムの特性を利用して様々な活用が図れるものと確信している。

さらに、先進マグネシウム国際研究センターが全国共同研究の拠点化にされると、より多くの研究者や民間企業が当該センターを活用することができ、KUMADAI マグネシウム合金を中心としたマグネシウム合金のさらなる研究開発、およびそれを活用した製品への応用研究への展開、また、合金材料開発の人材育成をも大きく推進するものと期待している。先進マグネシウム国際研究センターはなくてはならない重要な研究機関であると考えている。

以上の観点から、先進マグネシウム国際研究センターの全国共同研究拠点化が実現すれば、関連する研究分野の研究コミュニティーが盛んになり当該産業会の発展に大きく寄与するものと考え、当工業会としてはこれらのことを切に要望し、先進マグネシウム国際研究センターが益々発展することを期待するものである。